



# TBS

## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 (株) TBSホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略局長 (氏名) 小杉 尚 TEL 03-3746-1111  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	149,388	△15.5	4,522	△33.5	9,764	△17.8	5,944	△11.8
2020年3月期第2四半期	176,880	△0.7	6,804	△13.1	11,880	△10.1	6,737	△20.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 83,189百万円 (151.7%) 2020年3月期第2四半期 33,053百万円 (114.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	34.78	—
2020年3月期第2四半期	38.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	887,670	669,729	73.9
2020年3月期	783,024	591,931	73.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 656,119百万円 2020年3月期 578,361百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	317,300	△11.1	4,100	△68.7	12,100	△43.1	6,700	△77.8	39.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	174,709,837株	2020年3月期	174,709,837株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,940,020株	2020年3月期	2,388,826株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	170,906,750株	2020年3月期2Q	174,341,179株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化し、政府の緊急事態宣言解除後は個人消費や輸出に一部持ち直しの動きもみられるものの、依然として厳しい状況が続いております。

こうした環境下、テレビ広告市況でも多くの業種で景況が悪化しており、スポット広告費の関東地区投下量は前年同期比30%減と大変厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、タイム・スポット収入の大幅な減収、またイベントの中止、延期、入場制限による規模縮小などにより、1,493億8千8百万円(前年同期比15.5%減)となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、番組制作費や広告代理店手数料の減少などにより、1,448億6千5百万円(前年同期比14.8%減)となりました。

この結果、営業利益は45億2千2百万円(前年同期比33.5%減)、経常利益は97億6千4百万円(同17.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59億4千4百万円(同11.8%減)となりました。

### ◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は1,157億7千8百万円(前年同期比12.2%減)、営業利益は2億4千万円(同60.4%減)となりました。

(株)TBSテレビのテレビ部門の当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、135億6千8百万円減収の749億8百万円(前年同期比15.3%減)となりました。このうちタイム収入が383億3千3百万円(前年同期比9.5%減)、スポット収入が280億1千9百万円(同27.7%減)、国内通販や無料動画配信での広告収入を含むコンテンツ収入が66億5千7百万円(同27.4%増)となりました。タイム収入については、「マスターズ」をはじめとするスポーツイベントが延期・中止となったことや、前年の「世界陸上2019 ドーハ」の反動に加え、レギュラーセールスも低調に推移したことにより減収となりました。スポットセールスについては、5局シェアは0.7ポイント改善しましたが、広告主による関東地区投下量の前年同期比30.0%減が大きく影響し、大幅な減収となりました。コンテンツ収入については、新作ドラマの高視聴率を背景に、無料動画配信の収入が伸びたことや、巣ごもり需要によりParaviなどSVOD配信収入が伸びたことで大幅な増収となりました。

(株)TBSテレビの事業部門の当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、32億8千2百万円減収の89億7千2百万円(前年同期比26.8%減)となりました。

催事・興行では、イベント自粛要請により公演中止が相次ぎ、映画事業においても新作映画の公開を延期、自粛要請緩和後の8月から公開を再開したものの、大幅な減収となりました。海外事業では、市況の改善の動きが一部でみられるものの、依然として厳しい市況が続いており、新作ドラマの供給不足なども加わり、減収となりました。メディア事業は、CS事業が堅調に推移し増収となりました。また、ライセンス事業も、ショッピング番組が好調であったことに加え、DVDの販売やヒットドラマの関連商品の売り上げが貢献し、増収となりました。

(株)BS-TBSの当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては野球・ゴルフ中継などのスポーツ番組の休止によるタイム収入の減収が大きく、10億2千万円減収の75億7千6百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

(株)TBSラジオの当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、厳しいラジオ広告市況の中、イベント開催の自粛の影響を受け、7億7千4百万円減収の39億8千6百万円(前年同期比16.3%減)となりました。

費用面において、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う番組収録の中止や延期による制作費の大幅な減少に加え、事業部門もイベント・公演中止により費用が減少しました。以上の結果、同セグメントにおける営業利益は3億6千7百万円減益となる2億4千万円(前年同期比60.4%減)となりました。

### ◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は、257億1千1百万円(前年同期比29.9%減)、営業利益は1億3千4百万円(同93.5%減)となりました。

(株)スタイリングライフ・ホールディングスは、政府による緊急事態宣言解除後から徐々に売上が回復傾向にある中で、コスト削減の徹底による費用圧縮に努めましたが、中核の小売事業「プラザスタイルカンパニー」において店舗中心に厳しい状況が続いていること、さらに化粧品事業「BCLカンパニー」においてインバウンド売上が激減したことにより、減収減益となりました。

◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は78億9千7百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は41億4千6百万円（同0.3%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う赤坂Bizタワーの稼働低下により減収となりましたが、費用抑制もあり小幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は8,876億7千万円で、前連結会計年度末に比べて1,046億4千5百万円の増加となりました。現金及び預金が配当金の支払いや有形固定資産の取得等により44億1千9百万円減少、受取手形及び売掛金が57億8千6百万円減少した一方、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が1,176億5千3百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は2,179億4千1百万円で、前連結会計年度末に比べて268億4千7百万円の増加となりました。保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が381億2千6百万円増加、長期借入金が64億円増加した一方、未払金が70億6千2百万円減少、未払法人税等が67億2千3百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は6,697億2千9百万円で、前連結会計年度末に比べて777億9千8百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き30億5百万円増加、その他有価証券評価差額金が772億5百万円増加した一方、自己株式の取得に伴い自己株式が24億2千3百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は73.9%、1株当たりの純資産は3,842円13銭となっております。

(連結キャッシュ・フロー計算書に関する定性的情報)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は822億4千万円で、前連結会計年度末に比べて28億1千9百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、57億7千6百万円の収入になりました（前年同期は101億9千6百万円の収入）。主な増額要因は、税金等調整前四半期純利益87億9千1百万円、減価償却費71億6千8百万円、売上債権の減少額57億8千6百万円等、一方、主な減額要因は、たな卸資産の増加額2億円、仕入債務の減少額29億9千7百万円、法人税等の支払額90億4百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、91億3千6百万円の支出となりました（前年同期は150億2千3百万円の支出）。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出68億2千6百万円、関係会社株式の取得による支出24億7千3百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億2千3百万円の収入となりました（前年同期は49億7千9百万円の支出）。主な内訳は、長期借入れによる収入70億円、自己株式取得による支出26億4百万円、配当金の支払額29億2千9百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2020年8月6日公表の予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2020年11月5日）公表いたしました「連結業績予想及び剰余金の配当並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	85,419	81,000
受取手形及び売掛金	41,476	35,689
有価証券	800	1,300
商品及び製品	8,518	8,047
番組及び仕掛品	6,176	6,825
原材料及び貯蔵品	657	679
前払費用	11,344	12,218
その他	4,512	5,029
貸倒引当金	△104	△113
流動資産合計	158,800	150,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	210,284	210,361
減価償却累計額	△119,055	△121,612
建物及び構築物 (純額)	91,229	88,748
機械装置及び運搬具	81,473	80,013
減価償却累計額	△71,416	△71,128
機械装置及び運搬具 (純額)	10,056	8,885
工具、器具及び備品	31,768	32,366
減価償却累計額	△29,367	△29,848
工具、器具及び備品 (純額)	2,400	2,518
土地	96,820	96,798
リース資産	4,454	3,535
減価償却累計額	△2,884	△1,980
リース資産 (純額)	1,569	1,554
建設仮勘定	8,592	8,053
有形固定資産合計	210,669	206,558
無形固定資産		
ソフトウェア	5,321	5,156
のれん	13,205	12,307
リース資産	5	2
その他	1,494	1,776
無形固定資産合計	20,027	19,242
投資その他の資産		
投資有価証券	379,820	497,473
長期貸付金	198	198
繰延税金資産	2,108	2,174
長期前払費用	236	149
その他	11,331	11,359
貸倒引当金	△167	△163
投資その他の資産合計	393,527	511,192
固定資産合計	624,223	736,992
資産合計	783,024	887,670

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,479	35,481
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,200
未払金	15,510	8,448
未払法人税等	9,001	2,278
未払消費税等	2,191	2,079
未払費用	1,602	1,541
賞与引当金	4,365	4,054
役員賞与引当金	80	26
その他の引当金	330	336
その他	8,259	8,232
流動負債合計	81,021	63,679
固定負債		
長期借入金	600	7,000
環境対策引当金	121	63
退職給付に係る負債	15,625	15,367
リース債務	736	697
繰延税金負債	77,342	115,468
その他	15,646	15,664
固定負債合計	110,072	154,261
負債合計	191,093	217,941
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	47,474	47,473
利益剰余金	306,150	309,156
自己株式	△3,952	△6,375
株主資本合計	404,659	405,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,905	251,110
繰延ヘッジ損益	26	3
為替換算調整勘定	△17	△40
退職給付に係る調整累計額	△211	△195
その他の包括利益累計額合計	173,701	250,878
非支配株主持分	13,569	13,609
純資産合計	591,931	669,729
負債純資産合計	783,024	887,670

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	176,880	149,388
売上原価	122,824	105,580
売上総利益	54,055	43,807
販売費及び一般管理費	47,250	39,285
営業利益	6,804	4,522
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	4,809	4,521
持分法による投資利益	—	747
その他	842	287
営業外収益合計	5,661	5,564
営業外費用		
支払利息	12	31
持分法による投資損失	274	—
固定資産除却損	50	93
固定資産圧縮損	—	21
その他	248	174
営業外費用合計	585	322
経常利益	11,880	9,764
特別利益		
雇用調整助成金	—	※1 704
固定資産売却益	—	152
特別利益合計	—	857
特別損失		
感染症拡大に伴う損失	—	※2 1,417
減損損失	65	183
投資有価証券評価損	171	157
組織再編関連費用	—	72
特別損失合計	236	1,830
税金等調整前四半期純利益	11,643	8,791
法人税、住民税及び事業税	3,584	2,458
法人税等調整額	673	323
法人税等合計	4,258	2,782
四半期純利益	7,385	6,008
非支配株主に帰属する四半期純利益	647	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,737	5,944



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	7,385	6,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,766	77,200
繰延ヘッジ損益	△7	△13
為替換算調整勘定	△21	△22
退職給付に係る調整額	△40	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△4
その他の包括利益合計	25,667	77,180
四半期包括利益	33,053	83,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,401	83,120
非支配株主に係る四半期包括利益	651	69

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,643	8,791
減価償却費	7,276	7,168
長期前払費用償却額	20	25
減損損失	65	183
のれん償却額	898	898
投資有価証券評価損益(△は益)	171	157
賞与引当金の増減額(△は減少)	△603	△310
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△340	△225
固定資産売却損益(△は益)	—	△152
固定資産除却損	50	93
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△105	4
受取利息及び受取配当金	△4,818	△4,529
支払利息	12	31
持分法による投資損益(△は益)	274	△747
売上債権の増減額(△は増加)	4,109	5,786
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,786	△200
前払費用の増減額(△は増加)	656	△837
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,027	△2,997
その他	△2,677	△3,939
小計	12,818	9,199
利息及び配当金の受取額	5,182	4,892
利息の支払額	△12	△31
法人税等の還付額	47	720
法人税等の支払額	△7,839	△9,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,196	5,776
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,839	△6,826
有形固定資産の売却による収入	8	175
無形固定資産の取得による支出	△871	△1,265
関係会社株式の取得による支出	△1,310	△2,473
その他	△9	1,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,023	△9,136
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	7,000
長期借入金の返済による支出	△600	△600
自己株式の取得による支出	△1,001	△2,604
配当金の支払額	△2,970	△2,929
非支配株主への配当金の支払額	△217	△29
その他	△190	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,979	523
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,849	△2,819
現金及び現金同等物の期首残高	72,033	85,059
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	70	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,254	82,240

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、通販や動画配信などの巣ごもり需要の増加や費用削減による増益効果が生じたものの、企業の広告出稿が大幅に減少したことで、当社グループの活動に重要な影響が生じております。

当連結会計年度の第1四半期報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

なお、当社グループは、四半期連結財務諸表作成時点で入手可能な情報に基づいて会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、当連結会計年度の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 雇用調整助成金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、雇用調整助成金の特例措置の適用を受けたものであり、当該支給額を雇用調整助成金として特別利益に計上しております。

※2 感染症拡大に伴う損失

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの要請や声明等を踏まえ、イベントの中止、店舗営業の自粛により発生した固定費(人件費・賃借費・減価償却費)等を「感染症拡大に伴う損失」として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	131,920	36,659	8,300	176,880	—	176,880
セグメント間の内部売上 高又は振替高	78	0	2,609	2,688	△2,688	—
計	131,999	36,660	10,909	179,569	△2,688	176,880
セグメント利益	607	2,062	4,134	6,804	0	6,804

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	115,778	25,711	7,897	149,388	—	149,388
セグメント間の内部売上 高又は振替高	140	7	2,476	2,623	△2,623	—
計	115,919	25,718	10,373	152,011	△2,623	149,388
セグメント利益	240	134	4,146	4,521	0	4,522

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2020年10月1日開催の取締役会決議に基づき、安定的な運転資金の確保を目的として、株式会社三井住友銀行をエージェントとするシンジケートローン契約を締結し、2020年10月13日に、金融機関22社からなるシンジケート団から借入を実行いたしました。本シンジケートローンの概要は以下の通りです。

(1) 組成金額

総額20,000百万円

(2) 借入実行日

2020年10月13日

(3) 返済期日

2023年10月13日 (期日一括返済)

(4) 借入金利

基準金利＋スプレッド

(5) 担保提供資産又は保証の内容

該当なし

(6) その他重要な事項がある場合にはその内容

該当なし

## 3. 補足情報

㈱TBSテレビ事業収入の内訳 (第2四半期)

(単位: 百万円)

区分	前第2四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	比較		前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	88,476	74,908	△13,568	△15.3	182,083
タイム	42,338	38,333	△4,005	△9.5	87,230
スポット	38,731	28,019	△10,711	△27.7	79,275
コンテンツ	5,226	6,657	1,431	27.4	10,892
その他	2,180	1,898	△282	△12.9	4,684
事業	12,255	8,972	△3,282	△26.8	25,304
不動産	1,475	1,513	37	2.6	2,996
合計	102,207	85,394	△16,812	△16.4	210,384

(注)前第2四半期において事業部門に含まれていた配信事業にかかる収入の一部について、当第2四半期よりテレビ部門のコンテンツ区分で集計しております。なお、前第2四半期について、当該変更による組替を行っておりません。